

平成29年度それあ〜ど(放課後等デイサービス) 自己評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1		4	1 ・ご利用者が増え手狭感が出てきたので、棚を外したり、ホワイトボードを壁付けしスペースの確保をした。 ・その日のご利用者によって移動等しやすいように配置を考えている。
	② 職員の配置数適切であるか	5		1	・配置基準は満たしているが、ご利用者、曜日や時間帯により要介助者が多いときは他部署から補ってもらっている。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4		2	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4		2	・日々の話し合いのみに留まっている点もある。 ・面談時に法人の職員記録シートや職務基準書をもとに目標設定と振り返りは行っている。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		1	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	2		1	3 ・平成29年度分からホームページで公開。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			2	4 ・今のところ行っていないが、理事にお願いする等検討していく。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			・アンガーマネジメント講座、リーダーシップ研修、感染症勉強会、虐待防止勉強会等を行い、全員参加を基本としている。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・現在検討・修正を行っている。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化させたアセスメントツールを使用しているか			6	・現在検討を行っている。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		2	・制作活動などは各月で担当を決めて担当者が中心となってアイデアを出し合い行っているため、他の活動も意見を出し合い立案し、実行していけるよう工夫をしていく。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		1	・生活介護のご利用者と一緒にいき、固定化しないようにしている。静的弛緩誘導法や笑いヨガなど取り入れている
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		1	・ご利用者の障害の程度に幅があり難しい部分もあるが、長期休暇などは放課後には出来ない活動を取り入れるようにしている。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5		1	・ご利用者の障害の程度に幅があり難しい部分もあるが、個別活動は個々の能力に合わせた活動を行い、集団活動は季節の行事を行っている。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			
⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3		3	・勤務形態により、全員で行うことが出来ないため、児発管と保育士で行っている。話し合った内容や申し送り事項は次の日のミーティングで共有するようにしている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	5	1		
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	3		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	1	現時点で相談支援事業所より、サービス担当者会議の参加依頼がなく参加したことがない。参加依頼があれば積極的に参加していく。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			・学校での様子を聞き、こちらでの様子も伝えるようにしている。 ・必要に応じメールや電話でも連絡を取り合っている。 ・学校での勉強会等にも参加している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	・今のところ協力機関がないので、保護者や相談員との情報共有が多い。今後は相互理解に努めていく。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2	1	・事例はないが移行先へ支援内容を情報提供する用意はある。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4	1	・事業所として重心連絡会に参加し、発達医療センター内の医師やスタッフと交流をさせてもらっている ・研修に参加したり、事例として取り上げてもらい助言を受けるようにしている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	・保護者やご利用者の意向もふまえて慎重に検討する。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1		・事業所として参加し、話し合った内容をミーティング等で共有している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	2
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			・利用開始前に重要事項説明書、契約書等を用いて説明の機会を設けている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	4		・内容によって看護師から助言し、機能訓練担当職員から助言する等、専門性に応じて助言や支援をするよう工夫はしている。

責 任 等	⑳ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		・年に1回開催している (平成29年度は10月に開催)
	㉑ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			・送迎時に行う伝達など日々のやりとりでの解決を図るようにしている
	㉒ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2		・事業所として行っている ・『ほけんだより』を発行している ・ブログで発信している
	㉓ ㉓ 個人情報に十分注意しているか	6			
	㉔ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1		・日本語に不自由されている方への配慮を心がけている。
	㉕ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	3	・行事に地域住民を招待はしていないが、慰問(演奏会等)やボランティアを地域の方をお願いして交流を図るようにしている。
非 常 時 等 の 対 応	㉖ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			・自由に閲覧できるようにマニュアルを通路に設置しているが、保護者への周知が不十分なため周知できるようにしていく。
	㉗ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1		・年に2回開催しているが、今後パターンを増やしていくことも検討して行く。
	㉘ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・アンガーマネジメント講習や「虐待防止の手引き」のチェックリストを使い振り返りを行っているが、これら以外にももっと出来ることを検討していく。
	㉙ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			・現在は該当者がおらず身体拘束はしていないが、計画に記載する用意はしている。
	㉚ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			
	㉛ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			・1冊にまとめ他部署のヒヤリハットも共有している。